

第 40 回原子力総合シンポジウム・プログラム
 2002 National Symposium on Atomic Energy, Tokyo, Japan
 主調テーマ 「豊かな未来と原子力」

日 時 2002 年 5 月 21 日 (火) ～ 22 日 (水) 10:00 ～ 17:00

会 場 千代田区立内幸町ホール (東京都千代田区内幸町 1-5-1)

開催趣旨 原子力関連学協会の共同主催により、21 世紀を迎えてますます重要になりつつある地球環境の維持・保全を考えたエネルギーの安定供給のあり方について、学界－産業界の各専門分野の研究者－技術者間の情報の交換・普及を図ると共に、単に専門家のみならず、一般の人々をも対象にして、エネルギー問題の現状と将来の展望を考え、人類と地球環境が直面している問題点を明らかにし、共通の理解を深めるため、本シンポジウムを開催する。

時 間 表

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
21日	開会	特別講演 1, 2, 3		昼 休	1. 放射性廃棄物の 処理処分の前進 に向けて	2. SPring8 高輝度放 射光源のひらく 未来		
22日	3. JCO 事故から学んだこと		昼 休	4. 豊かな社会の実現に向 けた原子力技術の応用			5. 原子力への国民 世論と立地の意 識 - NYMBY のかな たに	

5 月 21 日 (火)

午前の部

(後日一部変更する場合があります)

開会の辞 10:00～

挨拶

司会：成合英樹氏(筑波大学)

特別講演 1. 「地球環境問題と原子力」

運営委員長 岡 芳明

日本原子力学会会長 住田健二

(10:15～11:00)

柏木孝夫氏(東京農工大学)

特別講演 2. 「リスク予防と社会心理学」

(11:00～11:45)

岡本浩一氏(東洋英和女学院大学)

特別講演 3. 「ITER－核融合燃焼プラズマとエネルギーの生成に向けて－」

(11:45～12:30)

松田慎三郎氏(日本原子力研究所)

————— 昼 休 (12:30～13:30) —————

5月21日(火)

午後の部

1. 「放射性廃棄物の処理処分の前進に向けて」 (13:30～15:10)

司会：鈴木光雄氏(日本原燃(株))

- (1)高レベル放射性廃棄物地層処分の現状と課題 徳山 明氏(富士常葉大学)
- (2)東海発電所の廃止措置 油井宏平氏(日本原子力発電(株))
- (3)放射性廃棄物処分に係わる安全基準の国際動向と我が国の検討課題 小佐古敏荘氏(東京大学)

2. 「SPRING8高輝度放射光源のひらく未来」 (15:25～17:00)

司会：今崎一夫氏((財)レーザー技術総合研究所)

- (1)高輝度放射光施設SPRING-8の現状と成果 大野英雄氏((財)高輝度光科学研究センター)
- (2)高輝度放射光の物質・材料研究への応用 下村 理氏(日本原子力研究所)
- (3)高輝度放射光源の未来 北村英男氏(理化学研究所)

5月22日(水)

午前の部

3. 「JCO事故から学んだこと」 (10:00～12:00)

司会：木村逸郎氏((株)原子力安全システム研究所)

- (1)原子力産業の安全を考える 久米 均氏(中央大学)
- (2)JCO事故のその後の状況 住田健二氏(大阪大学名誉教授・日本原子力学会会長)
- (3)我が国の緊急被ばく医療体制 青木芳朗氏((財)原子力安全研究協会)
- (4)人的要素からみた事故の特性 古田一雄氏(東京大学)
- (5)周辺防災とJCO事故 能澤正雄氏((財)高度情報科学技術研究機構)

————— 昼 休 (12:00～13:00) —————

5月22日(水)

午後の部

4. 「豊かな社会の実現に向けた原子力技術の応用」 (13:00～15:10)

司会：宮本俊樹氏((株)東芝)

- (1)高度技術社会における安全問題の社会科学的側面 竹内 啓氏(明治学院大学)
- (2)豊かな未来への原子力技術の貢献
 - 1)原子力分野におけるリスク管理と危機管理－不確実性に備えるアプローチ 近藤駿介氏(東京大学)
 - 2)日本の環境問題における放射線生態学の果たす役割－過去から未来へ 松原純子氏(原子力安全委員会)

5. 「原子力への国民世論と立地の意識－NYMBYのあなたに」 (15:25～17:00)

司会：森田 朗氏(東京大学)

- (1)原子力を見つめる国民の目 横山裕道氏(毎日新聞論説委員)
- (2)原子力発電所の共存共栄 河瀬一治氏(敦賀市長)
- (3)原子力利用に関する市民とのコミュニケーションで検討が必要な課題への私見 碧海西葵氏(消費生活アドバイザー)